

2019（平成31）年度維持会活動報告  
2020（令和 2）年度維持会活動計画

---

公益財団法人 大原記念労働科学研究所

2020年3月2日

# 労働科学研究所は二人の出会いから始まりました

**大原孫三郎**

(画：中沢弘光、部分)

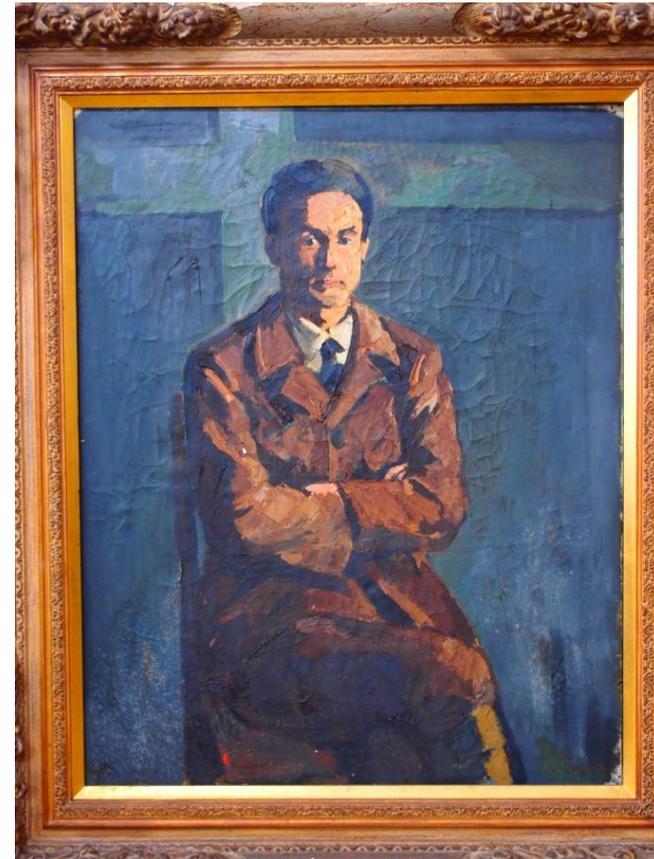


1920年、倉敷紡績工場の深夜の抜き打ち視察

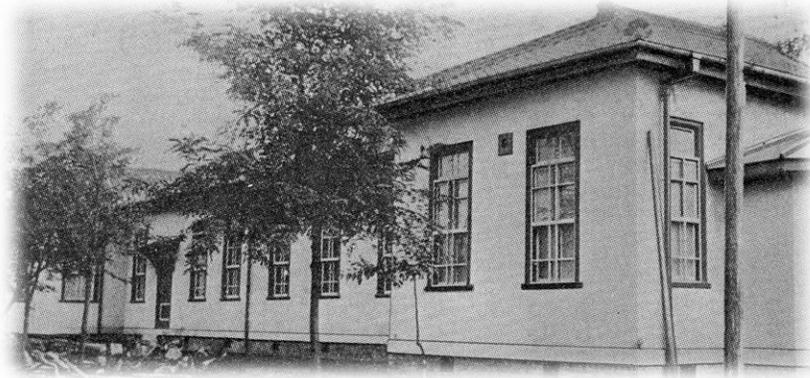
働く人の安全と健康を守るための研究と実践を目指す

**暉峻義等**

(画：田中謹左右)



# 倉敷労働科学研究所の黎明期



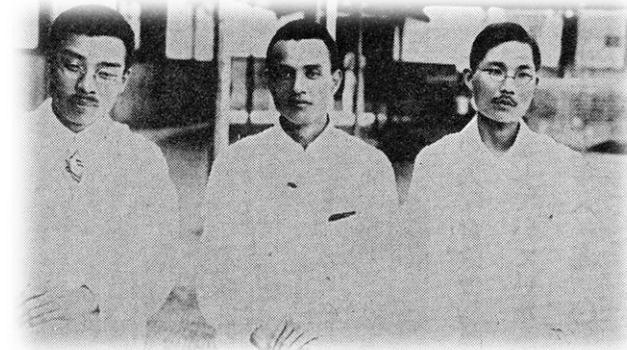
工場の敷地内に立地、女工らと寝食を共にデータを収集した



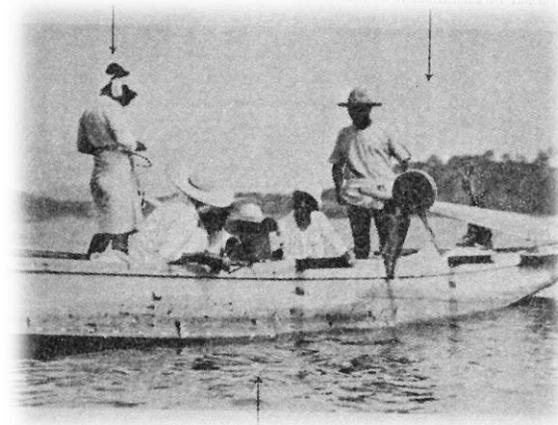
図28 大正10年(1921)代の倉敷労研の労作中の呼気採取

労作中の呼気採取風景

大正9年（1920）夏の昼夜交代作業の予備調査



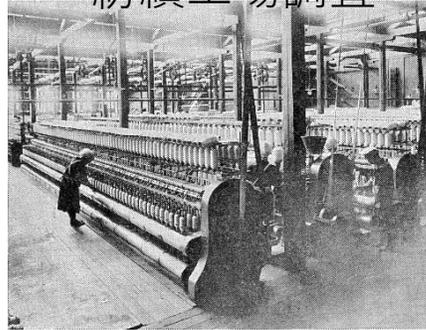
桐原葆見(28) 暉峻義等(31) 石川知福(29)  
(心理学) (生理学) (衛生学)



海女の潜水の生理学的研究

# 時代に合った研究・調査の一例

紡績工場調査



航空管制官の精神作業負担調査



大規模プラントの  
安全性調査



海女の生理学的  
調査



パソコン作業者の健康調査



呼吸代謝率の研究

**1920s**



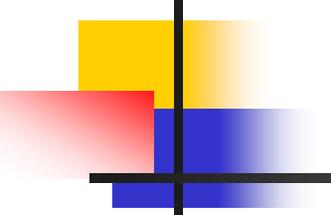
本四架橋  
の作業安  
全調査

**1960s-1990s**



ラウンジ型オフィスの  
調査

**2000s-2020**



# 労働科学研究所維持会とは？

いつできたの？： 1951（昭和26）年に発足しました

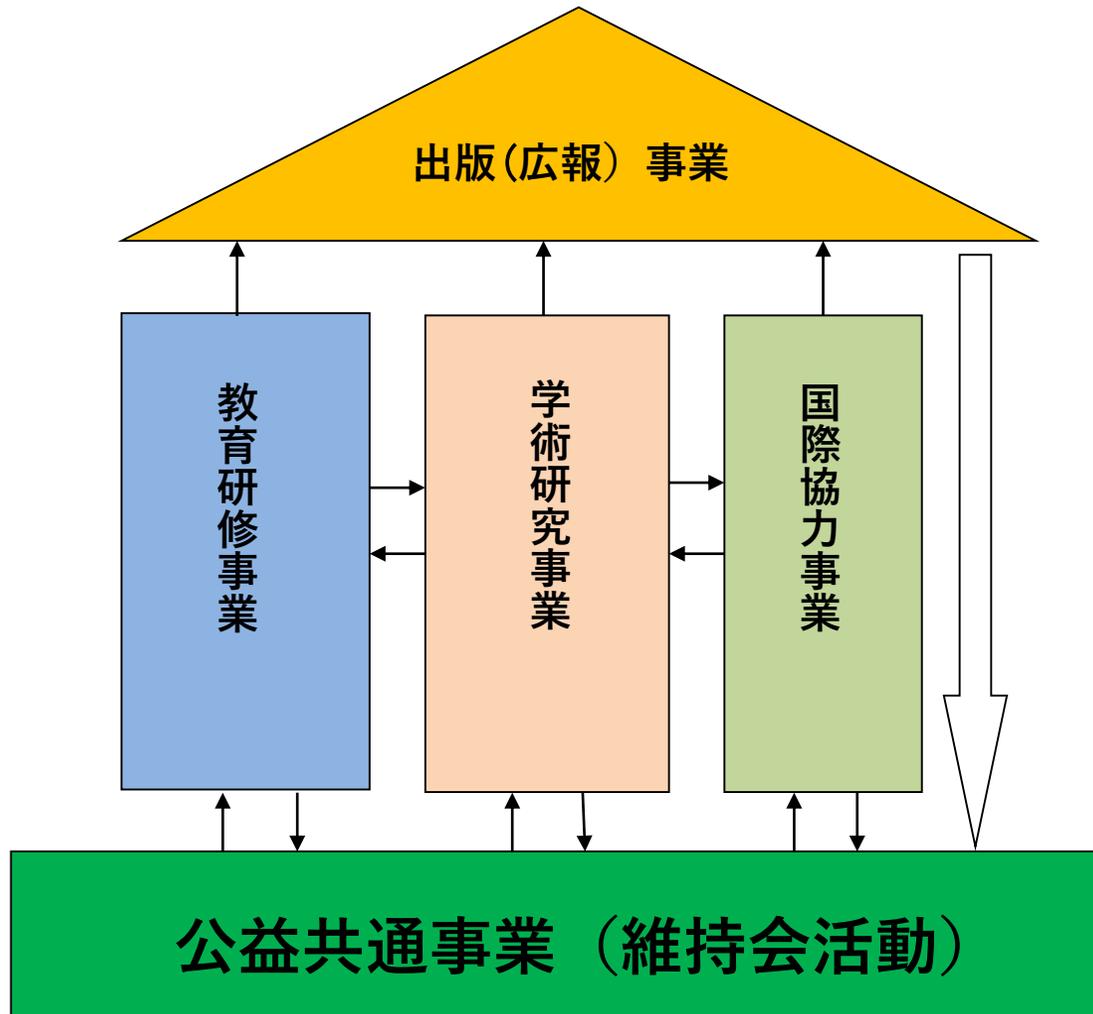
メンバーは？： 「（労研の）趣旨に賛同し、その目的の達成に協力し援助しようとする企業・団体及び個人」の方です。

どんな企業が何社くらい加入しているの？：

300社を超える企業、団体、個人が会員です

化学（12社）、電気機器（12社）、建設（8社）、電力・ガス（7社）、自動車・輸送機器（7社）などを中心に、鉄鋼、金属、運輸、銀行、行政、大学、業界団体、法曹と多くのジャンルの会員によって支えられています。

# 維持会活動（公益共通事業）



労働科学の研究の現場は、  
企業の労働現場です。  
労働科学研究の成果の普及  
先は、企業の労働現場で  
す。

維持会会員は、いわゆる賛  
助会員ではなく、公益事  
業を共に推進するパート  
ナーと位置づけています。

# 公益共通事業(維持会活動)に支えられる4事業

教育研修事業



作業シミュレーション課題を用いたヒューマンファクター研修の開発と実施



リスクアセスメント研修実習風景

調査研究事業



自動車への乗降動作実験



シンポジウム「経済情勢等が労災発生動向に及ぼす影響等に関する研究」厚生労働科研

国際協力事業

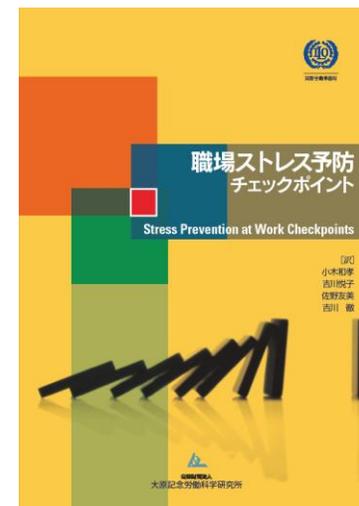


国際協力センター ワークショップ (インドネシア)

出版事業



出版部刊行物 (単行本、学術雑誌、普及誌)



# 維持会員のメリットは？

- セミナーに無料または優待価格で参加できます。
- 社内セミナー等に講師を派遣します。
- 労研のセミナー教材の利用が可能になります。
- 様々な業種の会員と交流がもてます。
- 製品評価、職場診断（*REAL*）を会員価格で利用することができます。
- 企業の困り事を気軽に相談できます。会員価格で対応いたします。相談は無料です。
- 普及誌「労働の科学」（月刊）、学術誌「労働科学」（年6回刊）を無料配付します。
- 安全衛生に係わる学術活動を支援します。

# 労働科学研究所セミナー2019（平成31・令和1）年度の実績

第1回「働き方改革に労働科学はどう対応するかー現在から近未来への視座と展開ー」4月25日

東京 講師 酒井一博(大原記念労働科学研究所)(参加者75名)。

第2回「働き方改革と経営」6月5日 東京 講師 今野浩一郎(学習院大学名誉教授)(参加者36名)

第3回「生活科学をミクロな生物から考える-微生物の新たな解析手法から見える有用性-」6月26日

東京 講師 竹山春子(早稲田大学理工学術院教授)(参加者38名)

第4回「トヨタ自動車見学会」7月16日 愛知 (参加者28名)。

第5回「働き方改革に労働科学はどう対応するかー現在から近未来への視座と展開ー」7月23日

大阪 講師 酒井一博(大原記念労働科学研究所)(参加者27名)。

第6回「働き方改革と労働組合が目指す社会像」9月19日 東京 講師 神津 里季生(日本労働組

合総連合会会長)(参加者26名)

第7回「誰もが生き生きと働ける社会を創る」11月28日 東京 講師 村木厚子(参加者91名)

第8回「働き方改革に使えるソフトウェア研究の成果」1月29日 東京 講師 佐々木司(大原記念労働

科学研究所)(参加者30名)

# 2020年度維持会関連活動計画

## (1) 広報・マーケティングの推進

研究事業、教育研修事業に関する広報、企業現場のニーズ把握、維持会活性化を推進する。

## (2) 維持会サービスの改革を進め、また維持会員の新規獲得を推進する。

## (3) リニューアルしたwebページのコンテンツ充実を図る。

## (4) 労働科学研究所主催事業への参加促進

## (5) 維持会員同士の交流の促進

## (6) 維持会員、会員企業との共同研究の促進

## (7) 維持会員の学術活動・学会活動の支援

## (8) 労研サイトの維持会員ページ充実

## (9) 講演、セミナー資料等の掲載

## (10) 相談窓口の充実

# 労働科学研究所セミナー等 2020年度の方針（検討中）

## 通年テーマ：働き方改革と経営（Ⅱ）

### ○維持会サロンを年2回開催

2020年9月：パネルディスカッション「オフィス改革と働き方（仮題）」

2021年3月：維持会総会、特別講演、交流会

### ○特別講演会 「暑熱環境でのリスク管理システムSmartfitについて」講演者 藤田晴哉 倉敷紡績株式会社 代表取締役 取締役社長

### ○公開講演会（イブニングセミナー）

2020年6月15日 講演者 猪木武徳 大阪大学名誉教授、国際日本文化研究交流財団理事長

2020年11月16日 講演者 江利川毅 医療科学研究所理事長

### ○工場見学会：2020年5月、11月

### ○ワークショップ：労研研究者の成果発表 年6回

東京以外の場所での開催も検討します。

# 研究所webページの刷新 (2019年7月公開)



維持会入会申し込み	当研究所の会員組織「維持会」へは、こちらよりお申し込みいただけます。
安全文化向上プログラム	組織の安全文化を「見える化」し、その文化を向上させるプログラムを開発しております。
職場改善サポート (REAL)	REALは、働く人々の安全と健康を守るための人間工学的な製品評価と職場の改善を主眼とした、エルゴノミクス研究センターの事業です。
疲労度	テキストが入ります。テキストが入ります。テキストが入ります。テキストが入ります。テキストが入ります。テキストが入ります。

スマホからも見やすく  
表示されます。  
(レスポンス対応)

すべて	2019.04.06	お知らせ
セミナー・イベント	2018.11.27	立派からの発表計画
出版物	2018.08.23	「化学工場安全に取組むための特別」調査報告書のお知らせ
プレスリリース	2018.08.08	2018年8月開催「アジア夏季」賞状にやさしい、伝書にやさしいもろもろ働く人にもやさしい職場を共に作りこむ
生・島・労働科学の目	2018.08.06	2018年10月開催「2017-10T」を返答・導入せざる前に知っておきたいこと
ろうけん余話		過去の投稿を見る



コンテンツの充実を図ります。



# 調査・研究のご依頼



維持会員優先です。  
原則、維持会員割引が適用されます。